

8 社会との連携

1 公開講座の開設の方針と状況

公開講座は地域社会との連携・協力，地域住民との相互理解などを得る上でひとつの有益な方法であり，本学部及び附属病院に蓄積された医学の知識を広く地域社会に解放することにより，地域住民の医学知識の向上に資することを目的としている。

本学部公開講座は，一般社会人を対象に昭和 59 年度から毎年 1 回開講していたが，平成 11 年度からは地域住民の更なる理解を得るため公開講座を拡充し，年 2 回開講している。募集人員に対する受講者数は，過去 5 年間の平均をみると 106% であり，本学部の公開講座（平成 14 年度から一部を市民講座に変更した。）が地域住民に浸透し理解を得られて来たことを示している。また，年齢構成は中・高年層に集中しているため，アンケートなどを参考に，テーマ，開講日，受講対象者等に工夫をし，より一層，幅広く，地域社会に受け入れられる努力が必要である。

公開講座の実施状況

	テ - マ	募集 人員	申 込 者 数			年 齢 構 成						
			男	女	計	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代
平成 10 年 度	成人・高齢者の病 気と予防	70	44 47.80%	48 52.20%	92	-	2 2.20%	8 8.70%	9 9.80%	25 27.20%	33 35.90%	15 16.30%
平成 11 年 度	各種臓器及び全身 感染症の予防と治 療	70	35 44.30%	44 55.70%	79	2 2.50%	7 8.90%	7 8.90%	14 17.70%	19 24.10%	21 26.60%	9 11.40%
	脊柱変形（側彎 症・後彎症など） を語る会	-	-	-	105	-	-	-	-	-	-	-
平成 12 年 度	高齢者の健康と介 護	70	31 41.90%	43 58.10%	74	-	5 6.80%	4 5.40%	7 9.50%	22 29.70%	23 31.10%	13 17.50%
	脊柱変形（側彎 症・後彎症など） を語る会	-	-	-	44	-	-	-	-	-	-	-
平成 13 年 度	生活習慣病～なら ないために，なっ たらどうする～	70	27 52.90%	24 47.10%	51	-	3 5.90%	4 7.80%	6 11.80%	15 29.40%	15 29.40%	8 15.70%
	脊柱変形を語る会 （側わん症・後わ ん症など）	-	-	-	180	-	-	-	-	-	-	-
平成 14 年 度	心身ともに健やか な子供に～親の願 い～	70	16 21.10%	60 78.90%	76	3 3.90%	11 14.50%	11 14.50%	24 31.60%	17 22.40%	8 10.50%	2 2.60%
	脊柱変形を語る会 （側わん症・後わ ん症など）	-	-	-	73	-	-	-	-	-	-	-

2 国・地方公共団体の審議会、委員会等への参加状況

大学に対する社会的要求が増大する中で、教官の学外活動も活発であり、国及び地方公共団体等の審議会や専門委員会、協議会、審査会等への多くの教官が参加し活動している。

なお、平成12年度以降における活動状況は次のとおりである。

省庁，地方公共団体の委員等

- 教授 正村 静子： 岐阜県建築審査会委員
- 助教授 早川 大輔： 岐阜県看護師試験委員
- 講師 東 華岳： 岐阜県准看護師試験委員
- 教授 伊藤 和夫： 特別研究員等審査会委員（日本学術振興会）
- 教授 岡野 幸雄： 岐阜県科学技術振興会議委員
- 教授 森 秀樹： 岐阜県健康づくり財団理事，医学教育振興財団評議員，医学教育振興財団，岐阜県健康長寿財団役員理事
- 助教授 原 明： 岐阜県成人病検診管理指導協議会委員
- 教授 高見 剛： 岐阜県予防接種健康被害調査専門医師，岐阜県感染症予防対策委員会（予防接種委員）
- 教授 江崎 孝行： 化学品審議会専門委員（経産省），産業構造審議会臨時委員（経産省），産業構造審議会化学・パイオ部会組換えDNA技術小委員会委員（経産省），岐阜県感染症予防対策委員会予防接種部会委員，岐阜県客員研究員招聘事業，バイオイダストリー安全確保対策調査委員会委員
- 助教授 井奈波良一： 岐阜県自然環境保全審議会委員，岐阜市環境審議会委員，産業保険相談員，建設業における健康づくりのあり方に関する調査研究委員会委員
- 教授 清水 弘之： 大気汚染に係る重金属等による長期曝露影響調査検討会委員（環境省），カドミウム汚染地域住民健康影響調査検討会委員（環境省），医師試験委員（厚労省），薬事・食品衛生審議会臨時委員（厚労省），岐阜県公害審査会委員，多治見市健康づくり計画策定会議委員，大気環境基準等設置調査に係る検討委員（財 日本環境衛生センター），独立行政法人国立環境研究所客員研究員，岐阜県音楽療法研究所アドバイザー委員会委員，岐阜産業保健推進センター運営協議会委員，岐阜市保険医療審議会委員，岐阜県循環器疾患調査指導委員会委員，岐阜県成人病検診管理指導協議会委員，岐阜県学校保健会参与，千葉県女性の健康に関する疫学調査検討会委員，多治見市喫煙対策検討会議委員，医学教育振興財団理事，岐阜県健康長寿財団理事，研究助成事業審査専門委員（財 名古屋公衆衛生医学研究所）
- 助教授 永田 知里： 岐阜県環境影響評価審査会委員，千葉県女性の健康に関する疫学調査検討会委員，岐阜県建築審査会委員，岐阜市保健医療審議会委員
- 助手 高塚 直能： 大垣保健所保健サービス評価委員会委員，西濃地域保健所医療嘱託員
- 教授 松岡 敏男： 岐阜県体育協会専門委員会委員，岐阜県高地トレーニング実践強化事業委員会委員，岐阜県医師会学校心臓検診委員会委員
- 講師 長崎 幸雄： 岐阜県高地トレーニング実践強化事業委員会委員
- 助手 加藤 義弘： スポーツ科学トレーニングセンターのスポーツ健康相談員，岐阜県高地トレーニング実践強化事業委員会委員，岐阜県体育協会専門委員会委員，

- 岐阜県医師会学校心臓検診委員会委員，岐阜県医師会心電図解析委員会委員
- 教授 森脇 久隆： 岐阜県感染症予防対策委員会エイズ対策部会委員，岐阜県感染症予防対策委員会エイズ対策部会エイズ対策小委員会委員，岐阜県教職員保健審査会委員，岐阜県身体障害者医学的判定嘱託医師，南飛騨総合健康医療センター整備検討委員会委員
- 助教授 加藤 則廣： 社会保険診療報酬請求書審査委員会審査委員
- 助教授 村上 啓雄： 岐阜県感染症予防対策委員会情報対策部会解析評価小委員会委員，国民健康保険診療報酬審査委員会委員
- 教授 藤原 久義： 岐阜市社会地方福祉審議会・身体障害者福祉専門分科会審査部会委員，岐阜県地方社会福祉審議会委員，岐阜県ねたきり予防推進本部員，全国保健管理協会評議員（社），科学技術・学術審議会専門委員（文科省），財政制度等審議会委員（財務省），岐阜県循環器疾患調査指導委員会委員，岐阜県成人病検診管理協議会委員，岐阜市地方福祉審議会・身体障害者福祉専門分科会審査部会委員，岐阜県社会福祉審議会委員
- 教授 武田 純： ライフサイエンス委員会（ゲノム研究領域研究小委員会）委員（文科省）
- 講師 山本真由美： 岐阜県成人病検診管理指導協議会委員，東濃東部糖尿病管理協議会委員，
- 教授 犬塚 貴： 岐阜県国民健康保険団体連合会介護給付費審査委員会委員
- 講師 岩田 尚： 移植推進連絡会議委員・中日本支部運営委員会委員（財日本臓器移植ネットワーク）
- 教授 安達 洋祐： 岐阜県社会福祉審議会委員，岐阜市地方社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会委員
- 助教授 杉山 保幸： 岐阜県社会福祉審議会委員，岐阜市地方社会福祉審議会・身体障害者福祉専門分科会審査部会委員，岐阜県成人病検診管理指導協議会委員
- 講師 鷹尾 博司： 国民健康保険診療報酬審査委員会委員
- 教授 玉舎 輝彦： 岐阜県医療審議会委員，岐阜県成人病検診管理指導協議会委員
- 助手 川鱈 市郎： 岐阜県母子保健計画策定に係るベースライン調査検討会委員
- 助手 三嶋 廣繁： スポーツ科学トレーニングセンターのスポーツドクター及びスポーツ健康相談員
- 助手 古井 辰郎： スポーツ科学トレーニングセンターのスポーツドクター及びスポーツ健康相談員
- 助教授 糸数 万正： 岐阜市地方社会福祉審議会・身体障害者福祉専門分科会審査部会委員，岐阜県社会福祉審議会委員，国民年金の年金給付に関する障害認定審査医員，国民健康保険診療報酬審査委員会委員，岐阜県障害者施策推進協議会委員，岐阜県老人保健の障害認定審査医，岐阜県労働局労災保険診療協議会委員
- 助手 伊藤 芳毅： 岐阜県身体障害者医学的判定嘱託医師
- 助手 大野 義幸： 岐阜県身体障害者医学的判定嘱託医師
- 助手 杉山 誠一： 岐阜県身体障害者医学的判定嘱託医師
- 助手 大西量一郎： 岐阜県身体障害者医学的判定嘱託医師
- 教授 坂井 昇： 重度後遺症障害認定審査委員会地方委員，岐阜県救急医療情報システム

- 運営委員会委員，岐阜県循環器疾患調査指導委員会委員，岐阜県成人病
検診管理指導協議会委員
- 講師 岩間 亨： 岐阜労働局地方労災医員
- 教授 山本 哲也： 岐阜県社会福祉審議会委員，岐阜市地方社会福祉審議会・身体障害者福
祉専門分科会審査部会委員，国民健康保険診療報酬審査委員会委員
- 助教授 川瀬 和秀： 岐阜県感染症予防対策委員会情報対策部会解析評価小委員会委員
- 教授 伊藤 八次： 岐阜市地方社会福祉審議会・身体障害者福祉専門分科会審査部会委員，岐
阜県社会福祉審議会委員，岐阜県花粉症対策委員会委員，岐阜県障害児
就学指導委員会委員
- 助教授 水田 啓介： 岐阜県花粉症対策委員会委員，国民健康保険診療報酬審査委員会委員
- 講師 青木 光広： 岐阜市障害児適正就学指導委員
- 教授 北島 康雄： 岐阜県特定疾患等対策協議会委員，岐阜県感染症予防対策委員会エイズ
対策部会委員，日本皮膚科学会理事，岐阜県保険医療推進協議会等委員
- 講師 市來 善郎： 岐阜県特定疾患等対策協議会委員
- 教授 出口 隆： 岐阜県身体障害者医学的判定嘱託医師，岐阜県感染症予防対策委員会エ
イズ対策部会委員
- 教授 小出 浩之： 国民年金の年金給付に関する障害認定審査医員，岐阜県麻薬中毒審査会
委員，岐阜県精神保健福祉審議会委員
- 助教授 高岡 健： 岐阜県麻薬中毒審議会委員，国民年金の年金給付に関する障害認定審査
医員，岐阜県老人保健の障害認定審査医
- 講師 植木 啓文： 岐阜市生活保護法医療扶助審議会委員，岐阜県生活保護法による医療扶
助に係る精神科嘱託医，岐阜労働局地方労災医員
- 助手 丹羽 伸也： 虐待保護者カウンセリング事業に関わる職員，岐阜家庭裁判所の裁判所
技官（非常勤）
- 助手 田中 生雅： 岐阜労働局セクシュアルハラスメントカウンセラー
- 教授 近藤 直実： 岐阜市小児慢性特定疾患対策協議会委員，岐阜県感染症予防対策委員会
エイズ対策部会委員，岐阜県予防接種健康被害調査専門医師集団におけ
る専門医師，岐阜市保健医療審議会委員，岐阜県感染症予防対策委員会
予防接種部会委員，岐阜県小児慢性特定疾患対策協議会委員，岐阜市健
康危機管理連絡調整会委員
- 助手 寺本 貴英： 岐阜市健康危機管理連絡調整会委員及び幹事
- 助手 加藤善一郎： 乳児発達健診相談事業における医師派遣，岐阜県こどもすこやか相談事
業における医師診察
- 助教授 後藤 裕夫： 岐阜県成人病検診管理指導協議会委員
- 講師 桐生 拓司： 岐阜県生活保護法医療扶助審議会委員，岐阜労働局じん肺診査医
- 教授 土肥 修司： 医師試験委員（厚労省），岐阜市救急医療情報収集装置運用協議会委員，
大学評価・学位授与機構大学評価委員会委員，医道審議会臨時委員（厚
労省）
- 助教授 飯田 宏樹： 岐阜市救急医療情報収集装置運用協議会委員，岐阜市救急業務高度化専
門委員会委員
- 教授 清島 満： 臨床検査技師試験委員（厚労省），岐阜県精度管理専門委員，岐阜市小児

成人病予防健診の実施に伴う医師，岐阜市精度管理専門委員

- 講師 和田 久泰： 岐阜市小児成人病予防健診の実施に伴う医師
- 助手 藤井秀比呂： 岐阜市小児成人病予防健診の実施に伴う医師
- 教授 柴田 敏之： 岐阜県歯科技工士試験委員
- 助教授 森 義雄： 岐阜市救急業務高度化専門委員会委員，岐阜市救急医療情報収集装置運用協議会委員，岐阜県身体障害者医学的判定嘱託医師，岐阜県保健医療推進協議会等委員，岐阜県身体障害者更生相談所医学的判定嘱託医師，岐阜県メディカルコントロール協議会委員，身体障害者医学判定医師
- 教授 紀ノ定保臣： 岐阜県保健医療推進協議会等委員，岐阜県 IT 顧問，医療情報の標準化委員会の委員（財 医療情報システム開発センター）
- 教授 高橋 優三： 岐阜県予防接種健康被害調査専門医師集団における専門医師，岐阜県産官学スクラム会議委員，知的クラスター創成事業における共同研究推進委員会委員（岐阜県研究開発財団）
- 教授 鈴木 康之： 岐阜県産官学スクラム会議委員
- 教授 藤田 廣志： 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員，産官学スクラム会議委員
- 教授 鈴木 正昭： 科学技術・学術審議会専門委員（文科省），「戦略的創造研究推進事業」領域アドバイザー（科学技術振興事業団）
- 教授 塚田 敬義： 医工学応用実験倫理委員会の委員（独立行政法人産業技術総合研究所）

3 地域社会での活動状況

他大学等の非常勤講師及び病院，診療所の非常勤医師として活動している。

4 生涯学習への対応状況

医療を取り巻く背景が急速に進歩している中で，一般人の健康に対する関心の高まりと共に，医学は社会人教育の重要なテーマの一つとなっており，これに対して，地域や各種団体等における生涯学習への協力について積極的に対応している。

平成 14 年度における講師としての対応状況

学術講演会（羽島郡医師会，三重県耳鼻咽喉科医会，知多半島小児科医会，各務原医師会，尼崎医師会，岐阜県病院薬剤師会，土岐医師会，岐阜市内科会，益田郡医師会，揖斐郡医師会，岐阜小児皮膚科医会，長野市産婦人科医会，京都産婦人科医会，岐阜県医師会勤務医部会，総合医用画像技術研究会，岐阜県内科医会，大阪臨床整形外科医会，大垣歯科医師会，岩国肝疾患セミナー，長崎尿路感染症研究会，福井県医師会，東濃東部糖尿病管理協議会，岐阜県健康福祉環境部），院内感染対策研修会（岐阜市民病院，岐阜県病院協会，岐阜社会保険病院，岐阜県健康福祉環境部），熊本県眼科医会研修会（熊本県眼科医会），学術研修会（愛知県病院薬剤師会東三河支部，岐阜県耳鼻咽喉科医会，岐阜県医師会，歯学部朝日大学歯学部附属村上記念病院，岐北総合病院，岐阜県柔道整復師会，中部地区臨床衛生検査技師会，岐阜県病院協会，福岡臨床整形外科医会，岐阜県医師会産業医部会，木沢記念病院，鹿児島市整形外科医会，日本国際協力センター，岐阜県健康福祉環境部），兵庫県腰部脊椎管狭窄症研究会（兵庫県予防医学協会），難病医療テレフォン・メールサービス相談医（岐阜県難病団体連絡協議会），医師会勉強会（山県医師会，各務原医師会），

精神障害者家族教室（中濃地域保健所）， 地域医療講演会（岐阜市歯科医師会，下呂温泉病院）， 痴呆予防研究会（岐阜県老人障害予防センター）， 健康教育講演会（県内の高等学校，岐阜県中濃地域保健所，飛騨教育振興事務所，岐阜県加子母村）， 栄養士研修会（岐阜県栄養士会病院協議会，同福祉協議会，全国学校栄養士協議会滋賀県支部，飛騨地域保健所）， 障害幼児指導者研修会（飛騨地区障害幼児指導者研究会）， 公民館講座（本巣郡巣南町公民館）， 高齢者要介護予防・家族介護教室（岐阜市医師会）， 学術研究会（岐阜心臓病研究会，東濃地区糖尿病合併症研究会，東海院内感染対策研究会，岐阜県滅菌業務研究会，岐阜県保険医協会，中部老年期痴呆研究会，城北循環器疾患研究会，本巣郡医師会，産業医科大学，循環器高度先進医療研究会，岡山角膜移植研究会，岐阜市教育委員会，岐阜県保険医協会，新潟小児喘息治療研究会，岐阜県高等学校教育研究会保健部会，福井県健康管理協会，岐阜地方裁判所）， 保育士研修会（美濃市保育士会，岐阜市福祉事務所）， 保健担当者講習会（岐阜県西濃地域保健所，岐阜県中濃地域保健所，岐阜県恵那保健所，岐阜地域保健所，中濃地域保健所郡上センター，岐阜県健康福祉環境部，岐阜県飛騨地域保健所）， 生涯教育研修会（市立長浜病院，岐阜薬科大学）， 生涯学習研修会（岐阜県栄養士会）， 地方検察庁職員等研修会（岐阜地方検察庁）， 救急技術訓練会（岐阜市消防本部）， 実務者講習会（全国学校栄養士協議会岐阜県支部，岐阜県公衆衛生検査センター）， 小児がん講演会・相談会（がんの子供を守る会）， 市民大学講座（岐阜市教育委員会）， 神経難病相談（中濃地域保健所）， 交通事故救命救急法教育講習会（日本交通福祉協会）， 難病医療相談会（岐阜市保健所，岐阜県関保健所）， 妊娠期両親学級（岐阜県御嵩町教育委員会）， 家庭裁判所調査官実務研修（名古屋高等裁判所）， 特別講演会（日本看護学会，岐阜機械金属青年協議会，岐阜県教育委員会，安城更正病院，揖斐総合病院）， 周産期専門相談会（愛知県周産期医療協議会）， 市民公開講座（東海北陸理学療法学会，和歌山県新宮市，岐阜県医師会，熊野市紀南健康長寿推進協議会，岐阜市医師会）， 防災担当者研修会（岐阜労働局）， リカレント講座（岐阜薬科大学附属薬局）， 親子ふれあい教室（早田青少年育成市民会議）， 健康管理セミナー（岐阜県教育委員会）， 難病患者等ホームヘルパー研修会（岐阜県健康福祉環境部，岐阜県保険師連絡協議会）， 教育講演会（国立療養所西奈良病院）， 統合失調症家族の集い（岐阜県関保健所）， 難病在宅ケアセミナー（岐阜県飛騨地域保健所）

5 奥穂高岳夏山診療所

奥穂高岳夏山診療所は，岐阜県立医科大学時代の昭和 33 年 7 月に開設され，今年で 43 回目の診療班を派遣したことになる。初年度は資金面での苦労もあったが，9 班編成で 7 月 10 日から 8 月末まで海拔 3,000m の雲の上で多くの患者の手当てを行った。

この夏山診療所は，今田重太郎氏（平成 5 年 8 月 31 日逝去 94 歳）の冬季避難小屋であり，無償で提供していただいた。夏山診療所の活動は，NHK の日本まんなか紀行「雲の上の診療所～北アルプス奥穂高岳～」に取り上げられるなど，その活動は学内外に知られるところとなり，本学にとって一つの重要な社会貢献事業となっている。

このように診療活動の功績が認められ，現在，資金面では，GM 会（岐阜大学医学部後援会），財団法人誠仁会，岐阜県山岳遭難対策協議会，長野県山岳遭難対策協議会，奥穂高岳山荘及び上宝村からの援助が得られるようになった。

診療所の運営については，昭和 51 年度に「奥穂高岳夏山診療所運営に関する申合せ」を制定，さらに，平成 13 年度には「岐阜大学医学部奥穂高岳夏山診療所規程」を制定して，同年設置したス

ポーツ医・科学分野による高山病の実態追跡調査など、学部を上げて取り組んでいる。

診療班は、医師 2 人、看護師 1 人、学生 4 人を 1 班とする 8 班を編成して 7 月 20 日から 8 月 20 日まで診療活動を行ってきた。また、西日本医科学生体育大会に参加する学生の都合等により、平成 4 年度からは 7 班編成で 7 月 25 日から実施していたが、7 月 21 日の休日前後を境に入山者が増加する状況もあり、平成 12 年度からは、8 班編成による 7 月 20 日からの派遣に戻している。

夏山診療所として利用している冬季避難小屋は、平成 7 年に総檜造りで建て替えられ、広さも従来の 1.5 倍となり北アルプス随一の施設となった。

参加者の処遇等に問題点もあるが、鋭意努力して解決を図り、職員、学生の協力を得て地元、登山者等の希望に応じて今後も継続していきたい。

なお、平成 10 年 11 月 25 日に(財)ソロプチミスト日本財団より、「平成 10 年度青少年ボランティア賞」を受賞している。